



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和5年度第5号

令和5年7月3日

文京区立本郷台中学校

校長 江熊 秀昭

見方、考え方 校長 江熊 秀昭

定期考査が終わり、生徒はホッと一息ついています。「なぜ、9教科も授業があるのか？」
「科目数が多くて大変！」と生徒の声があり、「個性重視」「専門性の追求」「ギフテッド」
というキーワードもよく聞きます。色々な科目を学ぶ意味を考えてみましょう。

コロナ禍の3年間を思い出してみましょう。

感染拡大の当初、感染症の専門家は「対策を全く取らなかった場合、感染した約85万人
が重症化し、約40万人が亡くなる」との試算を公表しました。一部のメディアが大々的に
取り上げ、国民の不安は増幅されました。政府の専門家会議が「最低7割、極力8割、人との
接触を減らして」と提言し、緊急事態宣言が発令されました。小中高校の一斉休校、マス
クの配布、飲食店の休業要請など次々に対策が出されました。いわゆる『自粛』が始まりま
した。一方で、休校による悪影響を心配する教育の専門家の意見や布マスクへの効果の疑問
に対しては、あまり考慮されませんでした。

スペインの思想家オルテガ・イ・ガセットは専門家の限界について
『近代以降、科学を中心に専門化が進み、自分の研究領域しか知らない
研究者が増えている。科学や人間の在り方を深く考えようとする総合的
な教養を欠く傾向にあるのが「近代社会の病」だ。』と警告しています。



未知なる新型コロナウイルス感染症を拡大させないことだけに焦点を絞った
見方、考え方としては効果があったのでしょうか。しかし、社会全体のバランス(教育・経済
など)を考えた場合はどうだったのでしょうか？複数の分野の優れた専門家から意見を聴き、
総合的な判断もあったのかもかもしれません。

小中高校で様々な教科を学ぶのは、自分の得意分野を見つける
ことと、様々な視点、見方、考え方があることに気づくためでは
ないでしょうか？

専門性のみを追求し、他者の意見に耳を貸さない。ある意味、
「自分のしあわせ」だけを考えてしまうことになります。学校、
社会での生活も同じです。6という数字も逆から見れば、9です。
見る位置、考える立場によって物事のとらえ方は違ってきます。
授業、学校生活を通して、様々な見方、考え方に気づき、正しい情報判断力と決断力を身に
つけ、しあわせな人生を歩む基礎を築いて下さい。



いつでも どこでも 誰とでも 挨拶を！



毎朝、生活委員や副校長と正門で生徒を迎えていると、大きな声で元気よく笑顔、立ち止まって丁寧にお辞儀する、うつむき加減に小さな声、素通りするなど様々な挨拶を受けます。来校されたお客様は「よく挨拶をしてくれる生徒さん達

ですね」と褒めて下さいます。

朝は元気に挨拶を交わしてくれますが、日中に廊下ですれ違ったり、下校するときに出会っても、自分から挨拶をしてくる生徒は多くありません。挨拶は「相手の立場や存在を認める」という大切なサインです。そして自分から声を掛けるときは相手への好意を示すために笑顔を浮かべ、前向きな気持ちになります。挨拶を交わすことで気分も良くなります。もし、挨拶が返ってこない、調子が悪いのかななどと相手を思いやる考えも浮かびます。

特定の場面だけでなく、いつでも、どこでも、誰とでも挨拶を交わし、挨拶が響き渡る本郷台中学校にしましょう。

生徒の活躍

- ・野球部 区夏季大会 第3位
- ・バスケット部 区夏季大会
 - 男子 第1位(都大会出場)
 - 女子 第2位(都大会出場)

7月行事予定

1日	土	生徒会サミット
5日	月	湯島青少年健全育成会(本郷台中)
6日	木	学校運営連絡協議会
8日	土	土曜授業・進路説明会・スポーツフェスティバル
10日	月	1年八ヶ岳移動教室(~12日)
14日	金	保護者会
17日	月	海の日
19日	水	大掃除・研修会
20日	木	終業式
19日	月	全校朝礼・安全指導・学力向上を図るための調査(1年)
21日	火	夏季休業日始・三者面談始・学校説明会